

## 厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会（第18回）議事概要

日 時 令和2年2月27日（木） 午後2時00分～午後2時35分

場 所 厚木商工会議所3階 303会議室

出席者（出席委員数13名／委員数16名）

横田委員長、星野副委員長、荒井委員、宮脇委員、村上委員、塩川委員、  
安本委員、海老澤委員、平川委員、田中委員、片桐委員、和田委員、杉山委員

事務局 厚木愛甲環境施設組合（事務局長、事務局次長他） 国際航業㈱

傍聴者 6名

### 1 開 会

出席者数報告 委員13名出席

#### 事務局

それでは、ただいまから、第18回厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会を始めさせていただきます。

はじめに、会議の開催要件について確認いたします。委員総数16名に対し、本日の出席者は13名と過半数を超えておりますので、条例に規定する開催要件を満たしていることを御報告いたします。

それでは、開会にあたりまして、委員長に御挨拶をお願いいたします。

#### 委員長（挨拶）

皆様こんにちは。新型コロナウイルスの感染拡大が今後心配されているということで、お気遣いのところ、御出席いただきありがとうございます。そのような事情から、本日の検討委員会は、なるべく円滑に議事進行を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

#### 事務局

ありがとうございました。このあとの議事進行につきましては、検討委員会条

例第6条第1項に基づき、委員長をお願いいたします。

## 2 報 告

### (1) ごみ中間処理施設事業の進捗状況及び今後の予定について（資料1）

#### 委員長

それでは、2番の報告に入ります。

(1) ごみ中間処理施設事業の進捗状況及び今後の予定についてを議題といたします。事務局の報告を願います。

#### 事務局

資料1に基づき報告

#### 委員長

ただいまの報告に対しまして、御質問等ございましたら、お出し願います。

-----

よろしいでしょうか。

-----

別になければ、本件についてはこれで終わります。

## 3 案 件

### (1) ごみ中間処理施設の施設規模見直しについて（資料2）

#### 委員長

次に、3番の案件に移ります。案件(1) ごみ中間処理施設の施設規模見直しについてを議題といたします。事務局の説明を願います。

#### 事務局

資料2に基づき説明

#### 委員長

ただいまの説明に対して、御質問等ございましたらお出し願います。

#### 委員

資料2「2 現計画の見直し」の(3)計画目標年次(令和7年度)見直し案における人口及びごみ量についてですが、参考資料の将来推計人口を見ますと、

稼働年度の令和7年度における厚木市の人口合計は227,280人で、稼働年度の令和7年度以降は少しずつ減少していく予測となっています。また、2060年度における厚木市の人口推計は197,617人ということで、約3万人減少する予測となっています。一方で、ごみ中間処理施設は280日稼働する施設を建設するわけですが、実際の施設の稼働日数は概ね300日前後ということで、計算してみますと、226t/日で280日運転すると63,280t、300日運転した場合は67,800tということで、見直し案の焼却量55,078t/年は処理できる量かと思います。ただし、リサイクル目標を立てていますので、リサイクル目標がしっかりと達成されないとごみが溢れてしまう可能性もありますので、構成市町村と十分に協議を行い、リサイクル目標を達成できるよう、厚木愛甲環境施設組合として努力をしてほしいと思います。

## 事務局

本組合としては、構成市町村である厚木市、愛川町及び清川村から、令和7年度のごみ量推計ということで報告をいただいております。その報告に基づいて規模を算定しているところがございますので、構成市町村においては、報告したごみ量の達成に向けてあらゆる方法を駆使し、減量を達成していただけると認識しております。本日は、構成市町村の職員も委員として御出席いただいておりますので、よろしくお願いいたします。

## 委員

ただいま事務局から構成市町村の職員ということでお話がありました。厚木愛甲環境施設組合が整備する新たなごみ中間処理施設で処理するごみの約85%は、厚木市から発生するごみです。厚木市といたしましては、事務局から説明していただいた資料2の「2 現計画の見直し」の(1)のAに、厚木市の今後の取り組みを記載させていただいております。まず、大きな部分としては、令和2年度中に次期の一般廃棄物処理基本計画を策定してまいります。その計画の中では、資料2の計画数値を記載させていただくこととなりますけれども、現在と比較して約18%ごみの減量を進めていかなければならないということは、厚木市の大きな使命として思っております。その中で、家庭ごみにつきましては、本日御出席いただいております副委員長をはじめとする金田地区の皆様にも御協力をいた

だき、戸別収集をモデル地区で実施しておりますけれども、これまでに厚木市内3つのモデル地区の実績で概ね15%ごみが減量されております。ごみの有料化に踏み込まず、戸別収集に御協力をいただいたことで減量がされているので、やはり、市民の皆様の意識が変わってきているのかなというところがあります。

そのような部分を踏まえまして、現在、厚木市で大きな課題として私が考えているのは事業系一般廃棄物の問題です。現在の一般廃棄物処理基本計画の中で計画し目標としておりました平成14年度対比30%減量という目標について、事業系一般廃棄物は達成されております。しかし、内容を分析いたしますと、神奈川県内19市の中で、市民一人当たりの事業系一般廃棄物の日量が、最も多い鎌倉市に次いで2番目の量となっております。厚木市としては、事業系一般廃棄物の量を神奈川県内の平均程度まで減量することができれば、十分に目標数値を達成することができるであろうという考えを持っております。以上のことから、事業系一般廃棄物、家庭系ごみ両方の面でごみの減量を行い、適正な規模でのごみ中間処理施設の整備に向けて、この5年間で厚木市として勝負の5年間であると認識して、しっかりと進めてまいりたいと考えております。

## 委員長

ありがとうございました。

厚木市は、鎌倉市に次いで事業系一般廃棄物が多いということで、鎌倉市は観光地であるため事業系一般廃棄物の量が多い事情は分かるのですが、なぜ、厚木市の事業系一般廃棄物の量が多いのか、理由を解説いただいてもよろしいでしょうか。

## 委員

厚木市においても、現在、詳細な分析を始めてはいるのですが、厚木市内には大手5社があります。その大手5社から大量に事業系一般廃棄物が排出されているかと申しますとそうではなくて、大企業についてはゼロ・エミッションを目標にしていることから、そのような事業系一般廃棄物は排出されておられません。現在、多くのごみが排出されている部門は、やはり、大規模小売店舗からの食品廃棄物並びに医療系、福祉系の事業所から排出されている紙おむつ類等、そのような廃棄物が事業系一般廃棄物の量が多い1つの原因ではないかと

考えております。ほかにも、市街地にある飲食店からの生ごみについては減らしていかなければならないと考えております。このような分析も様々なデータに基づいてしっかりと行い、どこにポイントをおいて取り組んでいくのか、次期の一般廃棄物処理基本計画を策定する中で1年かけて取り組んでいきたいと思っております。

#### **委員長**

ありがとうございました。

ほかに御質問等ございますでしょうか。

-----

ほかになれば、案件（1）ごみ中間処理施設の施設規模見直しについては、事務局説明のとおり決定することよろしいでしょうか。

-----

それでは、案件（1）ごみ中間処理施設の施設規模見直しについては、事務局説明のとおり決定することといたします。

### **（2）施設整備専門部会及び事業者選定専門部会の設置について（資料3）**

#### **委員長**

次に、案件（2）施設整備専門部会及び事業者選定専門部会の設置についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

#### **事務局**

資料3に基づき説明

#### **委員長**

ただいまの説明に対して、御質問等ございましたらお出し願います。

何か御質問ございますでしょうか。

-----

よろしいでしょうか。

-----

別になれば、案件（2）施設整備専門部会及び事業者選定専門部会の設置については、事務局説明のとおり、2つの専門部会を設置することよろしいでし

ようか。

-----

それでは、事務局説明のとおり、2つの専門部会を設置することに決定いたしました。

次に、厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会条例第7条第2項に基づき、委員長の私から2つの専門部会の委員となられる方の指名をさせていただきます。まず、「施設整備専門部会」の委員を指名させていただきます、6名の方のお名前をお呼びします。

(施設整備専門部会委員6名を指名)

名簿3番 荒井 喜久雄 様

名簿1番 横田 勇

名簿2番 星野 一郎 様

名簿12番 坂本 広美 様

名簿13番 熊谷 健一 様

名簿14番 片桐 亮 様

以上です、よろしくお願ひします。

続きまして、「事業者選定専門部会」の委員を指名させていただきます、8名の方のお名前をお呼びします。

(事業者選定専門部会委員8名を指名)

名簿3番 荒井 喜久雄 様

名簿1番 横田 勇

名簿4番 宮脇 健太郎 様

名簿5番 山口 直也 様

名簿13番 熊谷 健一 様

名簿14番 片桐 亮 様

名簿15番 和田 康 様

名簿16番 杉山 義則 様

以上です、よろしくお願ひします。

なお、それぞれの専門部会長については、荒井委員を指名いたしますので、よ

ろしくお願いいたします。本件はこれで終わります。

## 4 その他

### 委員長

次に、4番のその他に移ります。委員の皆様、何かございますでしょうか。

-----

委員の皆様から特になければ、事務局の方で何かありますか。

### 事務局

事務局からは特にございません。

### 委員長

別になければ、その他を終了させていただきます。

それでは、以上で、本日予定していた案件が終了しましたので、事務局にお返しします。

## 5 閉会

### 事務局

ありがとうございました。

それでは、閉会にあたりまして副委員長に御挨拶をお願いいたします。

### 副委員長（挨拶）

本日は、新型コロナウイルスの感染が全世界に広がる中で、この2週間から1か月が山場と言われておりますが、皆様には大変お忙しい中、慎重審議をいただきまして、誠にありがとうございます。令和元年度の進捗状況を踏まえ、令和2年度以降、新ごみ中間処理施設の施設規模見直しということで、事業者選定専門部会の設置に関わりまして、新たな委員さんをお迎えしました。学識経験者の皆様におかれましては、行政職の方と一緒により良い事業者選定をお願いする次第でございます。委員の皆様、本日はお疲れ様でした。



《第 18 回 ごみ中間処理施設整備検討委員会の様子》